

会長 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 06-6833-9227

事務局 〒577-0054 東大阪市高井田元町1-14-2 岡本 至弘 06-6788-2796

編集室 〒586-0039 河内長野市楠ヶ丘11-18 中川 良三 0721-65-0348

HomePage担当 〒577-0054 大阪市住之江区南港中3-3-31-520 坪井 仁志 06-6613-2836

令和8年1月（2026年） No.721

新年のご挨拶

### 新しい風で OMC の更なる発展を

合原一夫

令和8年が始まり、共に大阪ムービーサークルも新年度が始動しました。私もこのところ足腰が痛くて病院通いが絶えませんが、私もいつの間にか年を大幅にとってしまいながら感慨無量なことがあります。

今年からは会長の席を岡本さんに譲って、元気な代表者の新体制のもと大いに活動してもらいたいと願っています。

まずは実行体制として各役割毎に複数体制を敷き、役割の一人が病気などで執行できない事態になったときも、すぐに他の人が取って代われる体制をとっていくことが大切です。特定の一人だけが出来る、という役割分担は、各行事の実施時に困ることになります。発表会の司会役も普段から例会で司会の経験を積んでおけば代役が務められるはずです。上映会の技術（映写、音響）なども、何かの折に会場で経験しておけば、慌てなくとも技術担当ができるはずです。とにかく複数体制を軌道に乗せて安心して活動できる体制を整えておく事が必要です。

それに、天下のOMCとして作品のレベルアップを心掛けてほしいと思います。そのためにはコンテスト入賞作品のDVD等を見て勉強する等が大切です。発表会やコンテスト応募に向け、最低2本は自信作を作るよう心掛けてほしいものです。新しい執行部には作品創りの勉強会みたいなものを企画されたらどうでしょうか。まずは本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

### 総会・1月例会・新年会お知らせ

総会；1月24日（第4土曜日）13時より、遅れないように早めにどうぞ。

例会；総会終了後 1月例会開催 作品をお持ちください。

新年会；例会終了後、席を替えて宴会場にご案内いたします。

宴会場；小阪らくてん 電話 06-6732-0007 会費 5,000円

## 令和7年度の例会記録

わが大阪ムービーサークルの活動、特に毎月の例会では、ほぼ全員が何らかの役割を担って運営しています。その効果がクラブの例会で確実に表れています。出席者数、作品出品数共に過去最高を示しており、うれしいことです。では次の表をご覧ください。

### 過去5年間の例会記録

年度	会員数 人	出席者 人/回	出品数 本/回	総本数 本/年	通常例会 回数	第二例会 回数	コロナ禍 休会
R 3	23	11.3	8.4	84	10	5	2回
R 4	24	12.8	9.2	110	12	6	なし
R 5	23	13.9	9.3	111	12	4	なし
R 6	23	14.8	11.3	136	12	中止	なし
R 7	21	15.0	12.8	153	12	中止	なし

上の表に依れば、毎月の例会で出席者数、出品数共に過去4年間に比べ増えており、例会が盛会だったことを示しています。出品数が増えた要因は、お一人で2本とか3本を持参される道下さん、高瀬さん、江村さん、生田さんなどの存在が大きく、感謝するとともに、その制作意欲に敬服しております。一方、会員数のほうは高齢で退会される方、亡くなられた方が増え、この5年間で最低を記録しました。今後の課題は、現状の会員数を如何に維持してゆくか、更には増やしていくかにあります。昨年西村光雄さんが亡くなられたので期末に会員は20名となっています。新年度は20名の会員数でスタートです。

### 各種表彰

年 度 賞；道下さん 全国コン優秀賞受賞につき、OMCとして祝福します。（会長賞）

最多出席賞；

- ・12回出席；生田、江村、高瀬、宮崎、森下、山本の6氏
- ・11回出席；岩井、岡本、合原、坪井の4氏

最多出品賞

- ・21本出品；道下氏
- ・20本出品；高瀬氏
- ・15本出品；生田、江村の2氏
- ・13本出品；合原氏
- ・12本出品；山本氏

以上、各氏には1月総会の席上で記念品を贈呈いたします。例会を盛り上げて頂いた方々に感謝いたします。

## 令和8年度 行事計画

新しい年が始まりました。今年は新しい執行部体制のもと、OMCが関西はおろか今や全国の映像界のリーダーとなっていますさらに充実した、しかも楽しめるクラブとして活動していきたいと考えます。まずは従来通りの各種行事が基本でありますので、確実に成果を上げていきましょう。このOMCニュースは、作家連のホームページに毎月載せられ全国のアマチュア映像クラブの人たちに紹介されていますので、私たちの活動が注目もされ、期待もされていることも心得ておきましょう。

## 記

### 1, 例会の実施；

毎月第4土曜日13時より（12月は第3土曜日）河内永和駅近くの東大阪市立多目的センターにて開催。あらかじめ役割分担を決められた会員諸氏が、それぞれの役割を果たして例会をスムーズに運営されることを期待します。

### 2, OMC ニュース発行

OMC ニュースは、令和8年1月号で実に721号を数え、おそらく日本一の歴史ではないかと思います。然もほとんどの号が、いつでも見られるよう保存されていることは、誇りです。内容もほかのクラブ会報（作家連のホームページで他のクラブニュースが見られます）に比べても充実していると思います。会報は、その時その時代を表し、活動状況を後世に伝える大切な遺産となります。

### 3, 公開映写会の実施

一年間の活動成果を世間に発表する場として、今年は66回目の発表会となります。今年も近鉄布施駅前の市民多目的ホールで10月頃を予定します。アマチュア映像クラブ単独で発表会を開催しているのは、関西ではOMCと和歌山映像クラブぐらいになりました。東京でも今や激減しています。それだけOMCの発表会は注目されているわけで、今年もいい作品を出品していただけますよう各会員諸氏に期待しております。

### 4, 課題コンテストの実施

1月中旬頃に行われる宮中歌会始で発表される来年度の「御題」に合わせて、映像による「御題」の入った作品を創る、という課題コンテストは、作品を創るうえで大変有意義なものとなっています。今年も課題コンテストを実施、5月例会で公開コンテストを行います。

### 5, 撮影会の実施

親睦会を兼ね、毎年4月か5月に実施していますが、今年の担当役員、高瀬、江村両氏の企画で4月を目途で計画中です。7月例会で撮影会コンテストを行います。

### 6, 大阪アマチュア映像祭への出品及び行事支援

大阪市立中央図書館との共催事業として、大阪アマチュア映像祭があります。大阪アマチュア映像連盟の中心的な存在がOMCです。OMC無くしては連盟そのものが成り立ちません。作品出品面からも、OMCからの出品が中心となります。OMCの皆さんのご協力をお願いいたします。

### 7, 日本アマチュア映像作家連盟活動への支援のお願い

日本アマチュア映像界の頂点に立つ作家連盟の会長が合原会長で連盟の副会長兼事務局長であるのが岡本至弘さんであるので、作家連盟の屋台骨の2氏がOMCの屋台骨でもある重要な役割を担っているのが現状です。東京アマチュア映像連盟が崩壊して

しまった現在、作家連活動の中心は大阪がやらねば活動できないのが現実です。合原、岡本両名とも OMC 所属であるからして、作家連活動が OMC と深くかかわっていることは間違いないところです。作家連の行事も多忙なので、OMC 会員の皆様特に作家連にも入っておられる方には、何かと助けて頂かないと共倒れになってしまいます。幸い、現状ではうまくいっていますので安心しておりますが、今後ともよろしくご支援のほどお願ひいたします。

### ① 日本を縦断する映像発表会への支援

今年は 3 月 15 日（日曜日）中央図書館との共催事業として開催しますが、観客動員へのご協力をお願いいたします。作家連会員の方は、上映、照明、受付係など役割分担にてお願ひいたします。



### ② 全国コンテスト開催への支援

まずは OMC 会員諸氏の作品出品をお願いしたい。昨年度は全国から 48 本の作品が集まり関西からは、道下敏行会員の優秀賞受賞をはじめ関西全体で 4 名の方が受賞されました。今年はさらに多くの方に受賞していただきたいと考えております。今年の表彰及び授賞式は、京都で行いたいと考えております。京都で開催するとなれば、開催実施のため、OMC 会員が応援に駆け付けなければ、京都の方ばかりに押し付けるわけには参りませんので、その節は宜しくお願ひいたします。



## 8. OMC 会則の見直し

活動の基本となる会則は、今から 13 年まえの 2013 年を最後に見直していませんので新しく見直し、改訂すべき点があれば改訂し、新しく 2026 年版を創りたいと考えております。

## 9. 会員募集

令和 4 年時は 24 名。今年は 20 名。皆さん、会員募集に力を貸してください。

## 12月例会レポート

令和 7 年度最後の例会は、第 3 土曜日になり、20 日に行われた。師走ながらぽかぽか陽気で、上着がいらない陽気な空気の中、10 時からは幹事会、午後 1 時から例会は始まった。幹事会では、来期の役員構成と運営方針について審議された。このことについては、来年 1 月例会総会において議論される。午後の例会には、13 名の出席と 9 本の作品が出品された。

■運営担当：司会 植村、書記 岡本、YouTube 関係、江村 映写 坪井、江村 記録 中川 受付照明 森下、宮崎の各氏

■出席者：生田、植村、江村、大久保、岡本、合原、高瀬、坪井、中川、道下、宮崎 森下、山本の 13 名の出席でした。

## ■上映作品（今月の書記は岡本氏）

1. おっさんの秘湯の会 15分20秒 道下敏行

(作者コメント)

2025年12月1日～3日にかけ、佐賀の武雄温泉から有明を南下し、島原、長崎を以前勤めていた会社の同僚と旅した動画です。今回予約が一杯で上陸できなかった端島（軍艦島）、「長崎くんち」は以前勤めていた7年前の写真、映像を組み入れ編集しています。



(書記コメント)

同僚5人の旅日記をまとめたもので、楽しい旅の様子が良く出てましたね。記録に残りました。

2. 高野街道 花坂線 9分20秒 山本正夢

(作者コメント)

前回の高野鉄道を調べていくと高野山の西側にも森林鉄道があることを知り早速訪ねました。



(書記コメント)。

廃線を良く調べて行かれましたね。「熊に注意」の看板がありましたが大丈夫でしたか。こんな廃線が全国にあるんですね。獣道みたいな、危険な所をよく撮影されてきました。

3. 南座 9分00秒 高瀬辰雄

(作者コメント)

京都の劇場、南座の舞台体験ツアーに参加し撮影した。前半は師走の風物詩「まねき上げ」を加えてみました。



(書記コメント)

京都の南座の体験ツアーに参加した様子を撮影したもので、師走の「まねき上げ」の様子をよくとらえてありました。

4. 中の島ビデオスケッチ 3分20秒 坪井仁志

(作者コメント)

大阪・光の饗宴 2025 のテーマで中之島公園で毎年開催されているイベント。中央公会堂のプロジェクションマッピング等が目を引きます。市役所の玄関では大阪・関西万博のミャクミャクも人気でその上ではイルミネーションの上映もしています。そんな様子をスナップ撮影でビデオスケッチとしてまとめてみました。使用した曲はAIが作成したものです。



(書記コメント)

師走の夜の中之島をビデオスケッチ風に纏められました。BGMもAIがつくったものだとか楽しく拝見しました。ただロングばかりなので、アップを使って表現されるともっと楽しいものができるんじゃないかと思われます。

5. 晩秋の山田池公園 5分 18秒 生田幸靖

(作者コメント)

枚方市にある山田公園で、可愛い宇宙人と遭遇？



(書記コメント)

枚方市にある山田公園で、ビデオスケッチされたもの。晩秋の

風情がよく出てました。最初の2人の人物はない方が良いと思います。それと、途中で出てくる宇宙人？の女性は、いらないと私は思いますが、他の人はどう感じたでしょうか。

## 6. 神事と祭事

7分00秒 中川良三

(作者コメント)

河内長野鳥帽子人形八幡神社の秋祭り神事と昼夜のだんじり曳きまわしが終わり、駅前に集合し各地のだんじりを囲み、楽しんでいる群衆の様子を見て秋祭りで地域の活性化と繋がりを感じた。



(書記コメント)

だんじりの饗宴はすごいですね。何基あるんでしょうか。360度カメラの威力もすごいですが、やりすぎると逆効果になりますね。のどかな田園を行くだんじりから撮り始めて最後に弾きまわしで盛り上げて終わる映像にすると一つの作品になると思います。迫力がありました。

## 7. 造る

10分00秒 合原一夫

(作者コメント)

妙見山・信者会館「星嶺」の建設工事記録、変わったデザインの建物だけに建設に苦労した記憶がある。2001年(平成13年)撮影作品。



(書記コメント)

建築家出身の作者の作品。変わったデザインの建築だけにご苦労されたことだと思います。その建設工事を記録されたものですが、できた後の映像も見たいものです。

## 8. YOSAKOI2024

8分00秒 江村一郎

(作者コメント)

タイトルに2024となっているので何とか2025年内に完成さすべく頑張りました。よさこい前作では南海トラフ地震の注意報が出ており現在12月に北海道・三陸沖後発地震が発令されており日本では何処にいても注意しなければならない、このまつりが何事もなく続くことを願う。



(書記コメント)

よさこい踊りは、衣装が年々ど派手になり見るものを喜ばせる踊りになりましたね。アップを多用して見事な作品にされました。

## 9. くすのきプラザ企画運営委員会研修会

17分20秒 道下敏行

(作者コメント)

2025年11月28日にボランティアグループ「くすのきプラザ企画運営委員会」で淡路島の北淡震災記念公園に1・17阪神・淡路大震災の研修に出向いた記録映像である。この映像をくすのきプラザ企画運営委員会の定例会(2025.12.17)で披露し、2026年2月22日(日)に開催する防災講演会を意識づけた。



(書記コメント)

当会の委員研修会の模様を記録動画にされました。お疲れ様でした。この阪神、淡路大震災の教訓を継承し、今後に活かしてください。